



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月10日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社大垣共立銀行

コード番号 8361 URL <https://www.okb.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 境 敏幸

問合せ先責任者 (役職名) 統括執行役員総合企画部長 (氏名) 五藤 義徳 TEL 0584-74-2111

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	85,588	0.3	14,133	21.9	9,363	19.7
2021年3月期第3四半期	85,291	△2.6	11,587	11.9	7,815	20.4

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 11,658百万円 (△59.9%) 2021年3月期第3四半期 29,086百万円 (177.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	224.20	223.94
2021年3月期第3四半期	187.05	186.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	7,622,338	338,956	4.2
2021年3月期	7,450,778	330,696	4.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 325,506百万円 2021年3月期 317,630百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算定しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2022年3月期	—	35.00	—		
2022年3月期（予想）				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,700	△4.0	16,400	36.5	10,700	33.5	256.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	41,831,897株	2021年3月期	41,831,897株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	206,177株	2021年3月期	46,039株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	41,762,523株	2021年3月期3Q	41,784,632株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
3. 四半期決算補足説明資料	8
(1) 損益の状況【単体】	8
(2) 貸出金等の状況	9
(3) 自己資本比率（国内基準）	10
(4) 有価証券の評価損益	11
(5) 預金・貸出金等の状況【単体】	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、持ち直しの動きがみられます。個人消費は、度重なる緊急事態宣言の発令がありました。9月末に宣言が解除され、消費者マインドが大幅に改善したことから外食や旅行などのサービス消費が回復するなど、持ち直しております。ただし足元では新型コロナウイルス変異株の影響への懸念が急速に高まっております。設備投資は、企業収益の回復を受けて持ち直していましたが、感染拡大の影響などが残り足踏み状態にあります。輸出は、中国経済の回復鈍化などの影響を受けてほぼ横ばいで推移しております。

当社グループの主要な営業地域である東海地方の経済におきましては、主要産業である自動車産業は、夏場の大幅減産から正常化に向かっていましたが、一部の工場で稼働停止が続くなど部品調達難の影響が依然として残っております。

金融環境を振り返りますと、日経平均株価は、おおむね27,000円から30,000円のレンジで推移し、年末終値は32年ぶりの高値となる28,791円をつけました。ドル円相場は、米国の利上げ予想もあり、1ドル115円を超える水準まで円安が進みました。

このような金融経済環境のもと、当社は2021年4月～2024年3月の3ヵ年を計画期間とする中期経営計画「『Let's Do It!』～社員輝き 地域伸びゆく～」をスタートさせました。お客さまの共感と感動を呼び、地域に必要とされる企業グループを目指して、本部・営業店・グループ会社が一丸となり積極的な業務展開を図ってまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、経常利益141億33百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益93億63百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態につきましては、総資産が7兆6,223億38百万円（対前期末比1,715億60百万円増加）、純資産が3,389億56百万円（対前期末比82億60百万円増加）となりました。

主要な勘定残高につきましては、貸出金4兆3,098億76百万円（対前期末比129億51百万円増加）、有価証券1兆5,103億91百万円（対前期末比798億32百万円増加）及び預金等5兆6,825億89百万円（対前期末比973億17百万円増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月10日に「2022年3月期 第2四半期（中間期）決算短信」にて公表しました、2022年3月期通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
現金預け金	1,495,768	1,570,968
コールローン及び買入手形	1,439	3,335
買入金銭債権	2,900	3,288
商品有価証券	288	233
金銭の信託	4,983	4,975
有価証券	1,430,559	1,510,391
貸出金	4,296,925	4,309,876
外国為替	5,806	6,119
リース債権及びリース投資資産	82,627	81,491
その他資産	90,502	95,156
有形固定資産	33,060	32,588
無形固定資産	5,297	4,474
退職給付に係る資産	9,090	9,490
繰延税金資産	1,795	1,673
支払承諾見返	16,324	14,845
貸倒引当金	△26,576	△26,555
投資損失引当金	△15	△15
資産の部合計	7,450,778	7,622,338
負債の部		
預金	5,527,855	5,617,094
譲渡性預金	57,417	65,495
コールマネー及び売渡手形	16,052	59,350
売現先勘定	53,270	81,861
債券貸借取引受入担保金	123,033	107,635
借入金	1,233,217	1,254,943
外国為替	528	237
信託勘定借	1,219	1,205
その他負債	68,186	58,424
賞与引当金	1,701	37
退職給付に係る負債	967	780
役員退職慰労引当金	37	31
睡眠預金払戻損失引当金	218	180
ポイント引当金	865	903
特別法上の引当金	0	0
繰延税金負債	17,032	18,206
再評価に係る繰延税金負債	2,150	2,147
支払承諾	16,324	14,845
負債の部合計	7,120,082	7,283,381

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
資本金	46,773	46,773
資本剰余金	37,834	37,834
利益剰余金	169,754	176,115
自己株式	△165	△398
株主資本合計	254,196	260,324
その他有価証券評価差額金	60,056	61,453
繰延ヘッジ損益	235	195
土地再評価差額金	2,503	2,498
退職給付に係る調整累計額	638	1,035
その他の包括利益累計額合計	63,433	65,182
新株予約権	171	72
非支配株主持分	12,894	13,377
純資産の部合計	330,696	338,956
負債及び純資産の部合計	7,450,778	7,622,338

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
経常収益	85,291	85,588
資金運用収益	38,036	38,300
(うち貸出金利息)	27,826	27,638
(うち有価証券利息配当金)	8,861	8,905
信託報酬	2	0
役務取引等収益	11,147	12,429
その他業務収益	4,268	2,816
その他経常収益	31,838	32,042
経常費用	73,703	71,454
資金調達費用	1,436	713
(うち預金利息)	509	286
役務取引等費用	5,955	6,444
その他業務費用	1,140	543
営業経費	35,484	34,261
その他経常費用	29,686	29,490
経常利益	11,587	14,133
特別利益	—	7
固定資産処分益	—	7
特別損失	112	302
固定資産処分損	102	133
減損損失	9	169
金融商品取引責任準備金繰入額	0	0
税金等調整前四半期純利益	11,475	13,838
法人税、住民税及び事業税	2,229	3,435
法人税等調整額	792	448
法人税等合計	3,022	3,884
四半期純利益	8,453	9,954
非支配株主に帰属する四半期純利益	637	590
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,815	9,363

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	8,453	9,954
その他の包括利益	20,633	1,703
その他有価証券評価差額金	20,877	1,347
繰延ヘッジ損益	△671	△39
退職給付に係る調整額	428	396
四半期包括利益	29,086	11,658
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,387	11,116
非支配株主に係る四半期包括利益	698	541

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、クレジットカードの年会費について一時点で収益を認識しておりましたが、一定の期間にわたって収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

収益認識会計基準等の適用による、当第3四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 令和元年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 令和元年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書に(重要な会計上の見積り)として記載した(新型コロナウイルス感染症の収束時期に関する仮定)について、新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

3. 四半期決算補足説明資料

※増減比較については、表上にて算出しております。

(1) 損益の状況【単体】

経常利益は、経費の減少および株式等関係損益が増加したことにより前年同期比24億円増加して115億円となりました。また、四半期純利益は、前年同期比14億円増加して82億円となりました。

(単位 百万円)

	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	比較	2022年3月期 通期予想
	A	B	B-A	
業 務 粗 利 益 (除く国債等債券損益(5勘定尻))	42,331 (41,413)	42,971 (41,980)	640 (567)	
資 金 利 益	36,710	37,665	955	
役 務 取 引 等 利 益	2,868	3,458	590	
そ の 他 業 務 利 益 (うち国債等債券損益)	2,752 (917)	1,847 (990)	△905 (73)	
経 費	32,793	31,590	△1,203	
人 件 費	17,838	17,018	△820	
物 件 費	13,206	12,896	△310	
税 金	1,748	1,674	△74	
実 質 業 務 純 益 (注) 1	9,538	11,381	1,843	
コ ア 業 務 純 益 (注) 2	8,620	10,390	1,770	
コ ア 業 務 純 益 (除く投資信託解約損益)	8,194	10,132	1,938	
① 一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	△389	407	796	
業 務 純 益	9,927	10,974	1,047	13,500
臨 時 損 益	△823	548	1,371	
② 不 良 債 権 処 理 額	598	△205	△803	
貸 出 金 償 却	0	3	3	
個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	598	△209	△807	
③ 償 却 債 権 取 立 益	2	—	△2	
株 式 等 関 係 損 益	416	910	494	
株 式 等 売 却 益	1,217	1,120	△97	
株 式 等 売 却 損	468	88	△380	
株 式 等 償 却	333	121	△212	
そ の 他 臨 時 損 益	△644	△568	76	
経 常 利 益	9,103	11,522	2,419	13,600
特 別 損 益	△112	△298	△186	
税 引 前 四 半 期 純 利 益	8,991	11,223	2,232	
税 金 費 用 (注) 3	2,193	3,021	828	
四 半 期 純 利 益	6,797	8,202	1,405	9,500
(与信関係費用(①+②-③))	(206)	(201)	(△5)	

(注) 1. 実質業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額

2. コア業務純益 = 実質業務純益 - 国債等債券損益

3. 「税金費用」には、「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」の合計額を記載しております。

(2) 貸出金等の状況

◆リスク管理債権

【単体】

(単位 億円、%)

	2021年12月末		2020年12月末比	2021年9月末	2020年12月末
		2021年9月末比			
破綻先債権額	9	△2	△3	11	12
延滞債権額	503	13	93	490	410
3カ月以上延滞債権額	0	△1	0	1	0
貸出条件緩和債権額	85	△3	△35	88	120
合計	599	8	56	591	543
貸出金残高	43,340	254	△47	43,086	43,387
貸出金残高比率	1.38	0.01	0.13	1.37	1.25

(参考) 部分直接償却は実施しておりませんが、実施した場合は下記のとおりであります。

(単位 億円、%)

	2021年12月末		2020年12月末比	2021年9月末	2020年12月末
		2021年9月末比			
破綻先債権額	4	△2	△3	6	7
延滞債権額	469	10	87	459	382
3カ月以上延滞債権額	0	△1	0	1	0
貸出条件緩和債権額	85	△3	△35	88	120
合計	560	4	50	556	510
貸出金残高	43,300	249	△54	43,051	43,354
貸出金残高比率	1.29	0.00	0.12	1.29	1.17

【連結】

(単位 億円、%)

	2021年12月末		2020年12月末比	2021年9月末	2020年12月末
		2021年9月末比			
破綻先債権額	9	△2	△3	11	12
延滞債権額	504	14	94	490	410
3カ月以上延滞債権額	0	△1	0	1	0
貸出条件緩和債権額	85	△3	△35	88	120
合計	600	8	56	592	544
貸出金残高	43,098	250	△55	42,848	43,153
貸出金残高比率	1.39	0.01	0.13	1.38	1.26

◆金融再生法開示債権

【単体】

(単位 億円、%)

	2021年12月末		2021年9月末	2020年12月末
		2021年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	87	7	80	84
危険債権	432	5	427	344
要管理債権	86	△4	90	121
合計	605	8	597	549
総与信に占める割合	1.38	0.01	1.37	1.25

(注) 1. 記載金額は、単位未満を四捨五入して表示しております。
2. 自己査定結果に基づいた債務者区分により算出しております。

(3) 自己資本比率 (国内基準)

「自己資本の構成に関する開示事項」につきましては、OKBホームページ (<https://www.okb.co.jp>) に掲載しております。

【連結】

(単位 百万円、%)

(参考)(単位 百万円、%)

	2021年12月末	2020年12月末	2021年9月末
自己資本比率	8.78	8.39	8.68
自己資本の額	263,338	253,677	260,301
リスク・アセット	2,997,026	3,021,383	2,997,079
総所要自己資本額	119,881	120,855	119,883

【単体】

(単位 百万円、%)

(参考)(単位 百万円、%)

	2021年12月末	2020年12月末	2021年9月末
自己資本比率	8.29	7.97	8.19
自己資本の額	240,343	233,124	237,744
リスク・アセット	2,898,272	2,921,576	2,900,314
総所要自己資本額	115,930	116,863	116,012

(4) 有価証券の評価損益

【連結】

(単位 億円)

	2021年12月末			2021年9月末			2020年12月末		
	評価損益			評価損益			評価損益		
	評価益	評価損		評価益	評価損		評価益	評価損	
満期保有目的	0	0	0	1	1	0	1	1	0
その他有価証券	877	940	62	908	962	53	820	874	54
株式	787	793	6	812	816	4	698	702	4
債券	24	30	6	27	33	6	35	42	6
その他	66	116	49	69	111	42	86	129	42
合計	878	941	62	909	963	53	821	875	54

(注) 「その他有価証券」については時価評価しておりますので、上記の表上は貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております(組合出資金を除く)。

【単体】

(単位 億円)

	2021年12月末			2021年9月末			2020年12月末		
	評価損益			評価損益			評価損益		
	評価益	評価損		評価益	評価損		評価益	評価損	
満期保有目的	0	0	0	1	1	0	1	1	0
その他有価証券	861	923	62	890	944	53	804	858	54
株式	771	777	6	794	799	4	682	687	4
債券	24	30	6	27	33	6	35	42	6
その他	66	116	49	69	111	42	86	129	42
合計	862	924	62	891	945	53	805	859	54

(注) 「その他有価証券」については時価評価しておりますので、上記の表上は貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております(組合出資金を除く)。

(5) 預金・貸出金等の状況【単体】

◆預金・貸出金の残高

(単位 億円)

	2021年12月末			2021年9月末	2020年12月末
	2021年9月末比	2020年12月末比			
預金等(注)	57,123	751	1,549	56,372	55,574
うち個人預金	40,715	824	1,411	39,891	39,304
貸出金	43,340	254	△47	43,086	43,387
うち消費者ローン	18,750	156	649	18,594	18,101

(注) 預金等には譲渡性預金を含んでおります。

◆個人預り資産の状況

(単位 億円)

	2021年12月末			2021年9月末	2020年12月末
	2021年9月末比	2020年12月末比			
投資信託	1,211	81	144	1,130	1,067
生命保険(注)	5,052	85	336	4,967	4,716
公共債	544	12	76	532	468
外貨預金	236	△30	△95	266	331
合計	7,044	148	462	6,896	6,582

(注) 生命保険は、販売累計額であります。

上記の他、2021年12月末におけるOKB証券株式会社の預り資産残高は688億円であります。

以上